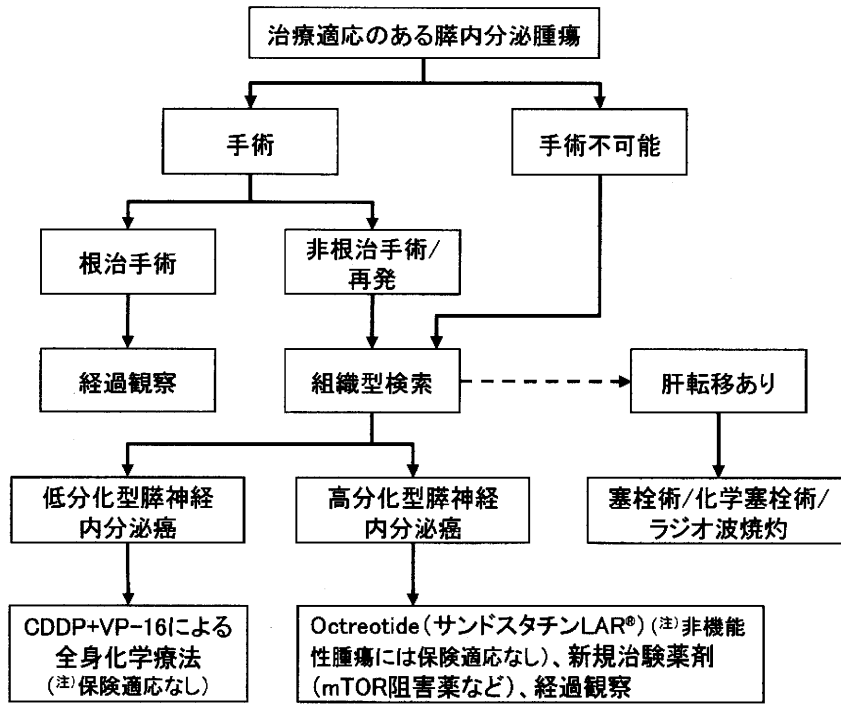
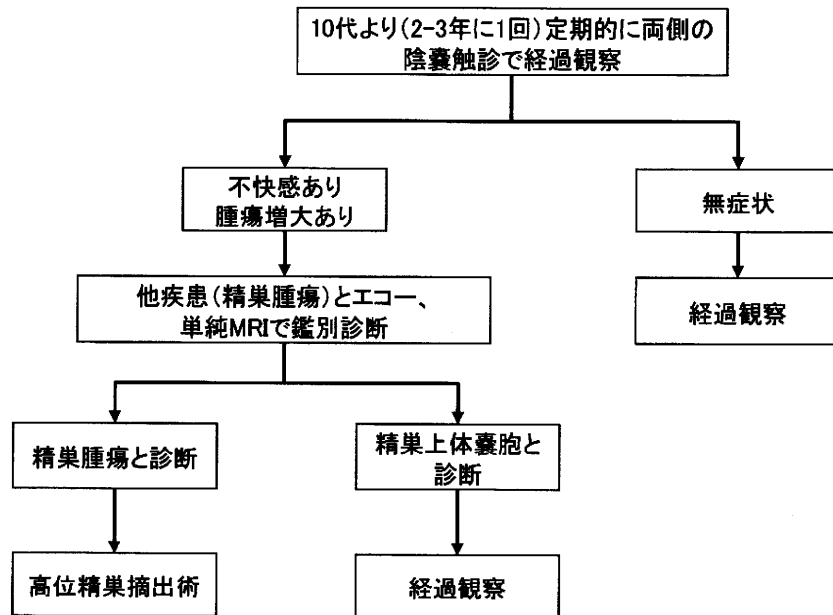


2) 治療フローチャート



6. 精巣上体嚢腫 経過観察フローチャート



〔Ⅶ〕

平成 22 年度第 1 回班会議プログラム

平成22年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）
「フォン・ヒッペルリンドウ病の病態調査と診断治療系確立の研究」
平成22年度第1回班会議 プログラム

日 時：平成22年6月24日（木） 13時00分～17時00分（予定）

場 所：キャンパス・イノベーションセンター東京 2階 「多目的室1」
〒105-0023 東京都港区芝浦3-3-6
TEL：03-5440-9020

13：00～13：10 研究代表者 挨拶と班員紹介
高知大学医学部泌尿器科学教室 執印 太郎

13：10～ 昨年度の活動および本年度の研究方針、課題の検討

検討課題

- 1 ガイドライン（案）の完成までの流れ
 - 1.1 各関連学会の承認
 - 1.2 評価委員の選定
 - 1.3 ガイドラインの形式の統一
 - 1.4 ガイドラインの項目の追加
- 2 全国疫学調査について
 - 2.1 調査の継続と対象診療科の拡大
 - 2.2 本年度の調査項目の追加
 - 2.3 本年度までの調査結果の解析
- 3 市民公開講座について
 - 3.1 VHL 病患者を対象とした市民公開講座の開催

〔Ⅷ〕

平成 22 年度第 2 回班会議プログラム

平成22年度厚生労働科学研究費補助金（難治性疾患克服研究事業）
「フォン・ヒッペルリンドウ病の病態調査と診断治療系確立の研究」
平成22年度第2回班会議 プログラム

日 時：平成22年12月2日（木） 13時00分～17時00分（予定）

場 所：キャンパス・イノベーションセンター東京 2階 「多目的室1」
〒105-0023 東京都港区芝浦 3-3-6
TEL: 03-5440-9020

13:00～13:10 研究代表者 挨拶（執印太郎）

13:10～ VHL 病全国疫学調査の解析およびまとめについての発表
(10分程度のご発表をお願いいたします。)

1. 網膜血管腫（石田 晋先生）
2. 腎臓癌（篠原信雄先生）
3. 褐色細胞腫（矢尾正祐先生）
4. 膵神経内分泌腫瘍、膵のう胞（五十嵐久人先生）
5. 中枢神経血管芽腫
 - 1) 菅野 洋先生
 - 2) 倉津純一先生
 - 3) 寺坂俊介先生

14:20～ 調査結果についての全体討論

14:50～ 来年度の研究計画について

〔IX〕

北海道地区講演会プログラム

日時:2011年2月27日(日曜日)

場所:JRタワーホテル日航札幌 36階

スカイバンケットルーム「つき」

時間:13:00-15:00(2時間程度)

内容:VHL病に対する診断・治療の実際

- ①遺伝子検査を含む遺伝相談
- ②脳外科疾患(小脳・脊髄血管腫)
- ③眼科疾患 (網膜血管芽腫)
- ④泌尿器科疾患 (腎がん・褐色細胞腫)

参加予定者:北海道地区のVHL患者・家族

14-15人(アンケート回収例)→医療関係者4名

希望発表内容 特定疾患等になるかどうか(補助の件)

どのような検査をどれくらいの間隔でうけるべきか
妊娠・出産前に知っておくこと

最新治療

複数疾患がある場合の受診科の選択

講演終了後 アンケート

講演内容の評価・治療費の問題・社会的支援体制

フォン・ヒッペル・リンドウ病とは?

=診断から治療まで=

北海道地区講演会

2011年2月27日(日曜日)

「VHL病の病態調査と診断治療系確立の研究」班

スケジュール(13-15時)

13:00-13:15	あいさつ およびVHLの全体の解説	高知大 執印教授
13:15-13:40	脳外科疾患(小脳腫瘍、脊髄腫瘍)	北大 宝金教授
13:40-14:05	眼科疾患(網膜腫瘍)	北大 石田教授 高知大 福島教授
14:05-14:30	泌尿器科疾患(腎癌・褐色細胞腫)	北大 篠原准教授
14:30-14:45	VHL遺伝子検査を含む遺伝相談等	高知大学 執印教授
14:45-15:00	全体を通しての質問	担当者全員

